

歩行者の安全な歩き方・渡り方

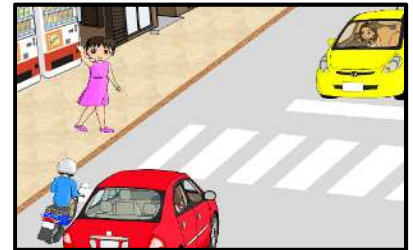
● 道路を歩くとき

- ・必ず歩道や路側帯を歩き、歩道や路側帯がない道路では道路の右側端に寄って歩きましょう！
- ・歩道では、車道から離れた内側を歩きましょう！



● 横断歩道を渡るとき

- ・信号機の指示を守り渡りましょう！
- ・信号機が青でも曲がってくる車などに注意し、安全を確かめてから渡りましょう！
- ・信号機のない場合は、歩行者は必ず一度止まって左右の確認とドライバーの目を見て、手を挙げるなどをして渡る合図（アイズ）をしましょう！
走ってくる車が止まってくれても反対側の車が止まってくれるとはかぎりません！
まわりの車をよく確認してから渡りましょう！



※ドライバーも歩行者の目を見て「渡って下さい」の合図をしましょう！
歩行者が渡り終わったのを確認してから進みましょう！

● 見通しの悪い交差点に差しかけたとき

- ・自動車や自転車等が走って来るかもしれませんので、出会い頭の交通事故が起こらないように、必ず一度止まって安全を確認してから歩きましょう！



● そのほか、注意すべき点

- ・車のすぐ前や後ろを渡るのは危険ですのでやめましょう！
- ・公園や建物からの急な飛び出しはやめましょう！
- ・傘はまわりがよく見えるように持って歩きましょう！

